

未来を担う若者からの鋭い質問



壇上から自分の言葉で質問する

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、市政に対する関心を深めてもらおうと「中学生議会」が8月22日に市議会議場で開催されました。今年度はコロナ禍前の開催方法に戻して、市内11中学校から代表24人が出席。議長選挙で選ばれた議長役の生徒の議事進行により、地域の身近な問題からまちづくりに関する意見まで、中学生の視点からさまざまな質問が出されました。今回は、各議員の主な質問とそれに対する答弁の一部を紹介します。

若者が集う

魅力的なまちづくりについて

成田高校付属中学校

年少人口の増加に向けた施策として、子育て世代に向けた支援に加え、小学生や中学生自身が住みたいと思えるような取り組みについて、市はどのように考えていますか。

〔市長〕市では、婚姻を機に市内で新生活を始める新婚世帯に対し、新居の家賃や引っ越し費用などの一部を補助する結婚新生活支援事業を実施しています。子育て支援施策として、保育

サービスの充実と待機児童解消に向けた取り組みを重点的かつ積極的に進めています。学校教育についての施策として、子どもたちの学校生活における環境整備を行っています。年少人口の増加に向けた対策として、次の世代の担い手である子どもたちにとって魅力的なまちづくりを進めていくことが必要であると考えています。今後も、子どもたちの意見を聴く機会を設け、多くの小中学生が市への愛着と誇りを持ち、住みたい、住み続けたいと思える魅力的なまちづくりに取り組んでいきます。



氏名標を立てる



議長選挙に一票を入れる



真剣に答弁を聴く

航空機の騒音対策について

下総みどり学園

市では、飛行経路下の地域付近での騒音について、どのように考えていますか。

【市長】 成田空港は大規模な内陸空港であるため、空港周辺地域に住んでいる多くの人が、航空機騒音の影響を受けながら生活されていますので、その対策をしっかりと推進していかなければなりません。市では、今後も住民説明会などの機会を捉えて、防音工事をはじめとする各種補助制度について丁寧な説明することや、広報なりたによる定期的な周知を実施するなどの継続的な取り組みを行うとともに、防音工事が速やかに実施できるよう、引き続き関係機関と協力して騒音地域に住んでいる皆様の生活環境の保全に努めます。

遠山地域の開発について

遠山中学校

成田市都市計画マスタープラン2023に示された中間評価において、遠山地域のまちづくり方針の変更が、ほかの地域よりも多いことについて、具体的な理由や内容を聞かせてください。

【市長】 都市計画マスタープラン

に示す、遠山地域における生活環境や自然環境、道路などの維持や充実に向けた、まちづくりに関する、全体で65の方針のうち14の方針を対象とし、その内容の変更や追加を行いました。具体的には、吉倉・久米野地区や東和田南部地区において、土地区画整理事業という手法により、新たな住宅地や産業用地を整備する計画や、畑ヶ田地区の国際医療福祉大学成田病院を中心とした医療関連産業の集積による国際的な医療・業務機能の形成、空港に関連した物流関連産業の誘致、そして、これらの事業には円滑な交通網を要することから、地域の生活利便性の向上や防災面にも役立つ新たな道路整備、東関東自動車道へのスマートインターチェンジ設置の実現に向けた事業などを進めています。

国際理解について

公津の杜中学校

市では、外国人観光客を増やすためにどのような取り組みを行っていますか。

【市長】 具体的な取り組みとしては、成田市観光協会ホームページ



ジ「F E E L成田」で日本語、英語、中国語の繁体字・簡体字、韓国語、タイ語の6言語での情報発信を行っているほか、日本に滞在中の外国人観光客に向けて、全国500軒以上万室以上のホテルで視聴可能な国際ニュースチャンネル「CNNJ」にて、海外向けの市のPR動画を放送しています。さらには、昨年度、

コロナ禍において減少した訪日観光客が戻ることを見据え、日本に関心がある外国人に対し、動画配信サイト「YouTube」にて海外向けPR動画の広告配信を行ったほか、本年5月には、SNS広告を活用して「成田伝統芸能まつり春の陣」のPRを実施しました。また、民間事業者と連携し、タイ

出席した中学生議員(敬称略)

成田高校付属中学校…鈴木 柚香、荒井 俐音
下総みどり学園…武井 莉子、塩谷 大雅
遠山中学校…竹下 夏生、池田 橙馬
公津の杜中学校…大竹 勇輝、大板 風香、三代川 隆
久住中学校…阿須間 美采、岩館 澄春

西中学校…鈴木 寧乃、田中 裕菜
吾妻中学校…伊藤 ひなの、齋藤 莉緒
成田中学校…立石 結衣、武士田 ももこ
中台中学校…岡田 愛衣、田中 ほのか
大栄みらい学園…藤井 颯太、三合 拓翔、高木 彩夏
玉造中学校…那須 太郎、沼田 有陽

と中国向けにフェイスブックにてインフルエンサーによるライブ配信を行うなど、新たなツールを活用した戦略的な情報発信を行っています。

防災対策について

久住中学校

一般市民も避難所運営の訓練をしておくべきと考えますが、市はどのように考えていますか。

【市長】市では、実践的な市民参加型の訓練として、総合防災訓練を開催しています。この訓練では、成田空港直下を震源とする地震を想定し、災害時における円滑な避難所の運営のために、地域の皆様とともに、避難訓練や避難所の開設・運営を行う訓練を実施しています。その



追加の質問は自席から

ほか、自衛隊車両や消防車両の展示、水消火器や煙の体験コーナーなどのさまざまな催しがあり、本年度は11月18日に公津の杜小学校での開催を予定しています。避難所運営委員会が設立されている地域では、速やかな避難所の開設や円滑な避難所の運営を行うため、あらかじめ役割分担を決める話し合いや訓練が地域の方々によって行われています。

スポーツ施策について

西中学校

親子で一緒にスポーツを行い、その中で交流が生まれ、深まるような機会が定期的にあると良いのではないかと考えますが、市はどのように考えていますか。

【市長】親子で参加できる主なスポーツイベントとして、市では「成田POPラン大会」をはじめ、ジャパンラグビー・リーグワン所属のクボタスピアーズなどプロスポーツチームとも連携し実施している「NARITA スポーツツーリズムフェス」や、ニュースポーツ、ボッチャといったさまざまな種目が体験できる「成田スポーツフェスティバル」、そして、8月18日

から24日までの「共生社会ウィーク」におけるパラスポーツ体験会などを開催しています。そのほかにも、ウォークラリー大会やレクリエーション祭、バウンドテニス親子体験教室、うなバレイ大会など、親子で参加できるスポーツイベントが数多く実施されています。今後も、誰もがいつでも気軽に参加できるスポーツの機会を創出するとともに、親子の交流はもちろんのこと、市民同士の交流についても引き続き促進していきます。

子育て支援策について

吾妻中学校

中学生までが対象となっている児童手当に関して、対象を高校生まで拡大することはできませんか。また、子育て支援の一貫として、市が重点的に行っている取り組みがありますか。

【市長】国が少子化や人口減少に歯止めをかけるための次元の異なる少子化対策の実現に向け、本年6月に閣議決定した「ことも未来戦略方針」において、来年度から対象を高校生まで拡充することや所得制限を撤廃すること、第3子以降の児童に対する手当を増額することなどを示



答弁に対する質問を求める

していることから、市においても、国による制度改正が行われた際には、適切に対応します。重点的に行っている取り組みとして、保育士の給与に市独自の上乘せ補助、いわゆる「なりた手当」を支給することや昨年度から市独自の支援策である「高校生等医療費助成制度」を実施しています。

農業問題について

成田中学校

成田市の農業後継者の不足に関して、職場体験のように中学校で農業体験をする機会を設けてみたら良いと思いますが、市の考えを聞かせてください。

【市長】市では、農業の魅力を知ってもらうために、農業体験

ができる機会を増やす取り組みを実施しています。若い農業従事者の指導の下、自然との触れ合いや収穫の喜びを知り、農業に対する関心や理解を深めることを目的に「親子体験農業教室」を開催しています。そのほかにも、市民農園の運営や、稲作りや芋作り体験教室の開催、地元幼稚園児などへの農業体験の場の提供を行っています。このように、さまざまな取り組みを実施していますが、中学生の職場体験についても、若い世代への農業の魅力の発信につながることから、今後、農業従事者や関係団体と連携を図り、農業体験をする機会の創出に努めていきます。

ごみ問題について

中台中学校

ポイ捨てなどを原因とする、ごみの散乱が起きないようにするために必要な取り組みはどのようなものですか。

【市長】各自治会や各種団体などに参加を呼び掛けて、市内各地の道路や公園などに捨てられた瓶・缶や散乱したごみを収集する環境美化運動を実施しています。また、ポイ捨てに対する



4年ぶりに全校がそろろう



質問に答える小泉市長

市長 講評

中学生議員の皆さんからの質問は、本市が直面している重要な課題をはじめ、市民生活に密着したもの、皆さんの中学校生活に深く関わりのある部活動に関するもの、そして、国際空港を擁している、本市ならではの外国人観光客や航空機の騒音対策に関するものなど、若者の視点に立った、的確な質問でした。

また、堂々と質問・発言している姿は大変立派で、とても感心しました。皆さんが本市の未来について、一生懸命に考えているという熱意が伝わり、大変うれしく、同時に心強く思いました。それだけに、私や各部長も全力で答弁をさせていただきました。皆さんからいただいた貴重な質問や提言は、今後、私のモットーであります「住んでよし 働いてよし 訪れてよしの生涯を完結できる空の港まちなりた」の実現に向けて大いに反映をさせていただき、また、今後の本市の発展のために役立ててまいりたいと思います。

本日、皆さんは自分の意見を述べるだけでなく、ほかの中学生の質問や意見にも耳を傾け、市からのさまざまな答弁も聴いていただき、見聞が広がったことと思います。どうか本日の経験をこれからの学校生活や今後の人生に生かしていただき、大きく成長されることを期待しています。そして、本市がより住みやすくなるよう、皆さんと一緒に考えていければ大変うれしく思います。

ぜひ次は市長として、あるいは議員として、または職員として、この議場に返ってきていただければと期待しています。

注意喚起を行うなど、マナーの向上に努めています。ごみのポイ捨てや散乱防止のためには、出かけた先でのごみは持ち帰る、必要な分だけを買う、マイボトルを使うなど、私たち一人一人が、ごみを出さないために何ができるかを考えながら行動することが必要です。私たち一人一人がごみを減らす意識を持ち、このような行動を心掛けることで、ポイ捨てがなくなり、ごみのないきれいなまちづくりにつ

ながると考えています。

部活動の地域移行について

大栄みらい学園

大栄地区のような人口が少ない**地区**では、**指導する人材の確保が困難になると考えますが、どのような対策がとられるのでしょうか。**

【**教育長**】学校部活動から地域クラブ活動への移行にあたっては、大栄地区に限らず、指導者の確保が最大の課題であると考えています。そのため、千葉県の広

域人材バンクの活用や、成田市スポーツ協会などの地域指導者および休日の指導を強く希望する教員の参画を促し、地域のスポーツ活動や文化活動が実施できるよう努めているところです。将来的には、指導資格や指導経験の有無にとられず、地域指導者を確保することも必要であると考えているため、指導者を養成する講習会に意欲のある方が積極的に参加していただけるよう努めていきます。

観光施策について

玉造中学校

魅力を伝える活動以外でどのような工夫をして若い世代の観光客数を増やそうと考えていますか。

【**市長**】5月に開催した「成田伝統芸能まつり春の陣」では、多様な世代が楽しめるイベントとなるよう、デジタルスタンプラリーや子ども向け歌舞伎ワークショップを実施したほか、成田市観光キャラクターの「うなり

くん」を活用した「ご当地キャラ成田詣」を同時開催するなど、若い人向けのコンテンツを多く設けました。また、イベントの実施にあたっては、周知のための情報発信も重要なため、若い世代を対象にSNSを活用した周知を行っています。さらに、若い世代の観光客の掘り起こしを図るため、映画やテレビ番組などのロケ誘致に努めています。※くわしくは市民協働課市民相談室(☎20・1507)へ。